別紙２

【まちづくりの基本方向】 5-3　淀江地域における歴史・地域資源の活用

【計画目標】

①伯耆古代の丘エリアのにぎわいづくりに取り組みます。

②地域資源を活用したまちづくりを進めます。

【現状と課題】

淀江地区には、国史跡指定の妻木晩田遺跡、上淀廃寺跡、向山古墳群、石馬などの特色のある史跡や名水百選の「天の真名井」、因伯の名水「本宮の泉」に代表される豊かな自然に恵まれており、これらの特色のある地域資源を活かしたまちづくりを進めているところです。

中でも伯耆古代の丘エリアには、歴史・文化的価値の高い史跡等が集積しており、観光・文化施設として淀江ゆめ温泉、伯耆古代の丘公園、上淀白鳳の丘展示館、県立むきばんだ史跡公園がありますが、近年利用者が伸び悩んでいます。

エリアのにぎわい創出を図るためには、点在する時代の異なる史跡をつなぎ、個々の施設のみならずエリア全体としての魅力を高める取組を関係団体と連携しながら進める必要があります。

【主な取組】

①伯耆古代の丘エリアの活性化

・伯耆古代の丘公園の再整備

・エリア全体の史跡のストーリー性のある魅せ方とルートづくり

・エリア全体の情報発信の充実

数値目標	伯耆古代の丘エリアの観光施設、歴史文化施設の年間入込み客数	
	現状値（H30）	目標値（R6）
	18 万人	２０万人

②地域資源を活用したまちづくりの推進

・名水などの地域資源を活用したまちづくりの推進

【関連計画】

伯耆古代の丘エリア活性化構想（仮）